

こども食堂まる

施設名 あわら敬愛こども園

① 活動実施の背景・実施に至った理由・思い

学校に登校できない児童のことで学校から相談がありました。その児童は昼夜逆転し、昼食はコンビニの弁当を毎日食べていたようです。

そこで、児童の生活リズムを回復させるために、温かい給食を園で食べることを提案し、進めることにしました。このことを継続的に進めている中で、徐々に登校につながり、やがて学校を卒業することができました。

こうした中で、こども食堂をやりたいという一般市民の方の協力もあり、平成 28 年 1 月から「こども食堂まる」を組織的に行うことができました。こども食堂まるは、単に食事や居場所を提供するだけでなく、子どもたちやその家族を支援するという思いをもって行われています。

たくさんの調理ボランティアの方や遊びのスタッフ、そして地域の様々な方々の寄付などによって支えられています。

② 取り組みの内容

毎月第 2・4 金曜日の 17:30 から 20:15 の時間で行われます。調理ボランティアの方、一般ボランティアの方、あわら市内の私立こども園から応援保育教諭 2 名、そして当法人の職員がスタッフとなって運営しています。

児童は参加費 100 円、その保護者は 200 円、一般の方は 300 円です。子どもたちのリクエストを聞いて、料理メニューや遊びのメニューを決め、30 名前後の大人や子どもたちが一緒に楽しく食事をとり、食事のあとはみんなでスポーツをして楽しく過ごします。

③ 活動の効果・課題

毎回 30 名前後の子どもたちと保護者が集まります。顔が見える活動として、子どもたちの普段の様子が伺え、声をかけるだけでなく、ちょっとした話から相談につながります。また開催日には縦割りで過ごすことになるので、様々な学びを得る機会にもなっています。世代を超えたボランティアの方とのやり取りができるのも、こども食堂ならではの場面です。

回数を重ねるごとに大人と子どもたちには、なじみの関係が作られ、こども食堂以外の場所でも声を掛け合う関係が作られてきました。

④ 今後の展開・夢



こども食堂まるは、月 2 回の活動だけではなく、必要な時に、生活全般に関わる支援ができるよう考えています。よりたくさんの方々に参加してもらい、ちょっと困った時に相談ができる関係を築いていきたいと思います。また開催日以外には、屋外での活動も取り入れ、子どもたちには、様々な経験を積み重ねて、成長を見守りたいと思います。